

## 2002年9月 西横川登山記録

姫路岳友同人会

参加メンバー：田路、大石、水守、吉田、西本、(山添)

行程：

9/14 高砂(12:15)～(18:00)黒川平駐車場

9/15 P(6:15)～しらび平(6:55)～しらび橋(7:00)～西横川～(11:15)長谷部新道～(12:15)千畳敷～(12:40)宝剣山荘(13:00)～(13:40)木曾駒ヶ岳～宝剣山荘(14:10)～(14:25)宝剣岳～(14:40)宝剣山荘～(15:15)千畳敷～P(17:00)～(23:30)高砂

会のメンバーで行ける沢登りルートとして、木曾駒ヶ岳の西横沢を選び朔行してきました。誰でも行けるルートを選択したのですが、参加者はいつものメンバーでした。

9/14 昼過ぎに高砂出発。連休初日でしたが、渋滞も無く夕方には黒川平の駐車場に着きました。駐車場山側にテント設営に最適の場所を見つけ設営。さっそく宴会開始です。ビールに焼酎、日本酒、ワインと次々に出てくるお酒類、いったい誰が飲むの。明日は早起きして始発バスに乗ろうと21時には宴会終了して寝袋に入ったはずなのに、「ワー、もう5時半だ」という誰かの声に目覚める。朝のラーメンを作るまもなく荷造り。駐車場前のバス停に並びました。始発前から次々と臨時バスが来るものの、すべて満車で「次のバスに乗ってください」と通過していきます。ついに辛抱たまらず、「椅子に座らないといけませんか」と確認して、立って乗車する事に。

西横川へは、しらび平のロープウェイ乗り場からバス道を数分戻った所。「しらび橋」の左岸から取り付きました。二つの堰堤、そして東横沢との分岐を過ぎたあたりから小滝が出てきます。ビレイが必要なのは20m滑滝位でしょうか。各自勝って気ままに小滝を登っていき、4時間ほどで沢は終了。やがてどちらに行っても良いか分からない分岐に出会いました。最後に30m滝なんか有ったっけ、などといいながら左を選ぶとやがて急な草付き。「沢より難しいぞ」、「これであっているのか」、「登山道はまだー」などと騒ぎながらしばらく登っているとやがて50m上方に人影が見えました。やっとな廃道となっている長谷部新道に出ました。

ガイドブックの解説どおり初心者でも楽しめるルートでした。泳ぎやへつりも無いので経験者がいれば初心者も容易に登れると思います。天気が良かったら最高なのでしょうが、ガスの中の沢登りは水の色も今ひとつ、肌寒くて頂けませんでした。今回のメンバーには簡単すぎて面白くなかったかも。

長谷部新道をしばらく行くと千畳敷、ガスで何も見えないのに登山客と観光客で一杯です。天気は悪いけれど、せっかく来たのだから木曾駒を登って帰ろうという事になりました。遠くで「整理券xx番からxx番の方」というロープウェイ乗り場の放送が聞こえる中、八丁坂を登ります。ジーパン姿の登山者、小さな子供を背負った家族ずれ、百円のビニールカップを来たグループなど、多数の登山者とすれ違い、追い抜きする内に、やがて宝剣山荘に着きました。風が強く9月とは思えない寒さでした。カップを着込み木曾駒ヶ岳と宝剣岳を往復して千畳敷に下りました。整理券を受け取って1時間待ちでロープウェイに乗り、いつものように温泉で汗を流して帰宅しました。

写真:あいにくの霧で写真の写りは今ひとつですが、次々と現れるホールド豊富な滝を勝手気ままに登ります。

